

城前幼稚園・小学校職員十箇条

- 教育は「子どもの将来の幸せ」「人材の育成」に寄与する行為です。
- 私なら教職員は「子どもの将来」に大きな影響を与えます。
- 教育の成果と課題は「子ども」が教えてくれます。子ども達の成長が教職員の喜びにもなります。
- 組織として協力しながら優しさで厳しさを併せ持ち、以下の十箇条を推進しましょう。

一 教育活動は子どもが中心

「目の前の子どもがどうすれば幸せになるか」を最優先に考えましょう。
教師は「授業で勝負」。授業改善は、プロの教師としての責務です。
担任は、受け持った子どもが進級(進学)するまでしっかりと見届けましょう。

二 結果主義・責任主義

教育活動のプロセスでの努力も理解するが、結果が重視されます。
教職員それぞれの職務でPDCAマネジメントサイクルをいかしましょう。
結果について保護者や子ども、地域環境に転嫁しません。
職員それぞれが、自分の職務に責任を持ちましょう。

三 自己主張と学校経営の視点、全職員一丸主義

自分の考えや主張を持ち、職員会議などの議論の際には積極的に意見を出しましょう。
自分が校長なら教頭ならといった視点を常に持つことが、自分及び組織の発展につながります。
他人の意見をよく聞き、自分の意見や主張を変える勇氣と謙虚さも持ちましょう。
職員会議などで決まったことは全職員が一丸となって推進しましょう。

四 効率主義

一つ一つの業務に軽重と目標、期限を決め効率よく行いましょう。

五 時間厳守

授業や会議等の開始時間、終了時間を厳守しましょう。
子ども達にも時間厳守を徹底させましょう。(授業、集会、清掃活動、委員会活動等)
提出物は、期限内に処理しましょう。(校務の優先感覚)

六 情報公開と説明責任

個人情報を守るとともに、公開できる情報は積極的に公開しましょう。
学校や教職員は、自分の職務に対し説明責任があることを常に心に置きましょう。

七 「ていねいな対応」と「報連相記」で信頼される学校作り

保護者や地域の方々への対応はていねいに行いましょう。
全職員が意識して情報連携、行動連携を図るよう努めましょう。
校長、教頭への報告・連絡・相談と共に、記録として残しましょう。(報連相記)

八 自己研鑽

子どもを教える教職員は、自ら学ぶことが重要と心得ましょう。
互いをリスペクトし合うとともに、それぞれ得意な分野を学びあう職場環境を醸成しましょう。

九 メンタルヘルス

楽しい職場作りに勤めましましょう。年休を取りやすい職場環境をつくりましましょう。
悩みは一人で抱えず、上司や同僚に相談しましょう。
残業を減らす努力、木曜の定時帰宅を推進しましょう。

十 服務規律の確保

保護者や地域から信頼される教職員としての自覚を持ちましましょう。
職務上の義務、身分上の義務を常に意識しましょう。(体罰、セクハラ、飲酒運転などの撲滅)
公金を扱うときは、二人以上で確認しながら進めましましょう。